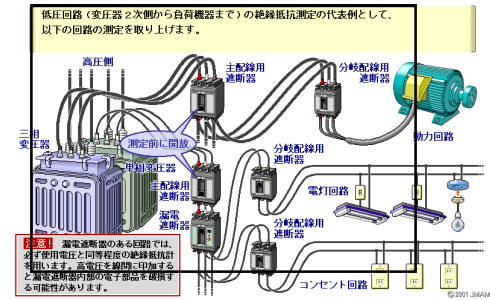


“ムズカシイ”絶縁抵抗測定をCG、映像(写真)でわかりやすく

絶縁抵抗測定コース

0 絶縁抵抗測定コース 001-1 低圧回路の絶縁抵抗測定



スイッチを入れる

★「絶縁抵抗測定」を初心者でも正しく確実にこなえるように絶縁抵抗の意味、測定原理や正しい測定方法など実務に即した内容を習得できます。

特色

- 音声がなく、画面に表示される文字と画像を読むことで学習を進めるタイプのコースです。思考を中断することなく自分のペースで学習を進めていくことができます。
- 目に見えない電気の流れや測定の原理はコンピュータグラフィックスを、測定の手順など実際の作業は映像を用いて、わかりやすく解説しています。
- 一般的な測定方法だけでなく、状況に応じた測定方法なども取り上げており、測定前の事前学習にもご利用いただけます。

カリキュラム

絶縁抵抗測定を一人で正しく行うために！

0 学習の進め方

001-1 学習の進め方 001-2 このコースの特徴

1 抵抗の原理

101 導体の抵抗 103-5 漏れ電流
 102 体積抵抗・表面抵抗 104-1 絶縁抵抗の性質
 103-1 絶縁体の抵抗 104-2 材質の劣化により絶縁抵抗は低下
 103-2 誘電分極 104-3 温度が高いほど絶縁抵抗は低下
 103-3 充電電流 104-4 吸湿が多いほど絶縁抵抗は低下
 103-4 吸収電流

2 絶縁抵抗計

201 絶縁抵抗計 203-2 適切な定格電圧
 202 ガードリング、ガード端子 203-3 下限測定抵抗値
 203-1 絶縁抵抗計の選定

3 絶縁抵抗測定

301-1 絶縁抵抗を測定する箇所 304-5 動力回路
 301-2 接地線を外す場合 304-6 高電圧を線間に印加すると漏電遮断器の電子部品を破損
 301-3 機器の充電部間(線間) 305-1 絶縁抵抗測定の手順
 302-1 高圧回路の絶縁抵抗測定 305-2 短絡接地棒
 302-2 高圧電路 305-3 ストラップ線を施す
 302-3 コンデンサ 305-4 電池確認
 302-4 ケーブル(金属遮蔽層なし) 305-5 無限大確認(開放試験)
 302-5 ケーブル(金属遮蔽層あり) 305-6 零点確認(短絡試験)
 302-6 ケーブル(金属遮蔽層あり・機器接続状態) 305-7 E端子と接地端子を接続
 303 変圧器の絶縁抵抗測定 305-8 計測
 304-1 低圧回路の絶縁抵抗測定 305-9 記録
 304-2 測定前に開放 305-10 定期的な校正
 304-3 電灯回路 306-1 測定結果の判定
 304-4 コンセント回路 306-2 傾向管理

受講対象者

電気設備の保全員、管理者、
 設備メンテナンスの
 フィールドサービス、電気実務者

監修

関東学院大学工学部教授
 工学博士 高橋 健彦

教材概要

想定学習時間

◆ 1 時間

最短実行時間

◆ 30分

教材構成

◆ Webによる教材配信

◆ テスト数 1